



仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会
 会長 見上一幸
 仙台市青葉区錦町1-3-9
 （市役所錦町庁舎3F）
 電話 022-224-2581
 FAX 022-302-3406

■ 会長あいさつ

会長 見上一幸

この度は歴史ある仙台ユネスコ協会の運営をお預かりすることになり、身の引き締まる思いでおります。みなさまご承知の通り、食糧もままならぬ終戦直後、再び戦禍のないようにと、世界ではじめてのユネスコを支援する民間組織として仙台ユネスコ協力会がつけられました。そのため仙台は民間ユネスコ運動の聖地とも言われます。このことをたいへん誇らしく思うとともに、みなさまとともに先人の心をしっかり引き継いでまいりたいと思います。

民間のユネスコ運動はUNESCO憲章の精神の下、70年余が過ぎました。本協会は特に近年、会員のみなさまのご尽力により、子どもキャンプやユネスコカレッジなど自主活動に著しい進展があり、公益社団法人としての社会貢献がなされております。また、本協会も取り組んでまいりました「寺子屋運動」は、識字教育で途上国に国際貢献をしてまいりました。

幸いこの70年余、日本では他国との戦争はありませんでした。しかし世界では、民族間の対立もあり、一部の国の内向きの思考や社会の分断化が危惧されています。貧困、抑圧、差別などの構造的暴力がない状態（ヨハン・ガルトゥング氏の言う積極的平和）という点でも一層努力すべき点があるように思います。また、地球温暖化・気候変動などは、我々が“持続可能な社会”を構築する上での喫緊の課題もあります。

そのような状況の中で国連は「持続可能な開発目標（SDGs）」を定め、ユネスコをリード機関の一つとしてESD・SDGsを積極的に進めております。ユネスコ協会は、これらESDおよびSDGsに一層積極的に取り組むべきと考えます。また各地の協会では会員の高齢化が危惧されており、グローバルな視野を持つ若いユース（青年部）の活躍が一層期待されます。令和時代の幕開けとともに本協会が持続可能な社会の構築に貢献できるように、これまで中村孝也前会長のもとで進めて来られた成果をしっかり引き継ぐとともに、会員のみなさまの一人一人が少しでも活動できる場を広げたいと考えております。

どうぞみなさまよろしく申し上げます。



これからの行事と催事

ユネスコカレッジESD講座

■日時：7月7日（日）14時
 ■場所：AER（アエル）6階 セミナールーム

第5回宮城ユネスコ子どもキャンプ

■日時：8月9日（金）～11日（日）
 ■場所：オーエンス泉岳 自然ふれあい館

民間ユネスコ運動の日

■日時：7月21日（日）10時
 ■場所：AER（アエル）6階 セミナールーム



公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年（昭和22年）7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。

2019.5.30

2019年度 総会・理事会



2019年5月30日(木)午前10時から会員総数300名の内209名(委任状を含む)が出席の下、仙台ユネスコ協会事務所にて第76回通常総会が開催されました。

初めに「2018年度事業報告ならびに決算報告」、「2018年度監査報告」が上程され異議無く承認されました。

また「2019年度事業計画及び予算」が上程され、これも異議無く承認されました。次いで審議事項として「定款の一部改正」「理事・監事の選任」が上程され提案通り承認されました。総会終了後、引き続き2019年度第2回理事会が開催され、「会長・副会長・専務理事の互選及び事務局長の指名」、「参与の委託」が審議されました。



総会



理事会

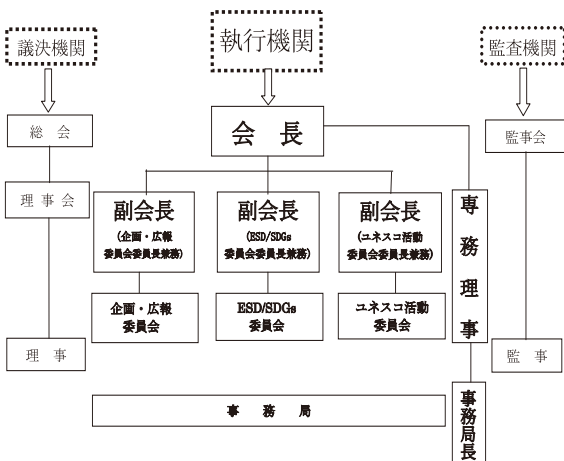


その結果、3年間当協会をけん引いただいた中村孝也会長の後任として見上一幸氏が第14代会長に就任した他、若干名の理事・参与が交代いたしました。

また今年度の重点活動方針である「SDGs（持続可能な開発目標）の推進」に対応すべく、委員会を改編し市民参加型活動強化や学校・企業・行政機関等との連携を深めていくことも報告されました。なお今年度の役員名簿や各委員会の構成については別項をご覧ください。



組織図



2014年4月1日施行
(変更2019年5月30日施行)

2019年度 役員名簿

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
会長	見上 一幸	理事	富田 義雄	参与	佐藤 皇季
副会長	松坂 宏造		原 一代		佐藤 信
	内藤 恵子		針生真由美		佐藤 芳郎
	西條 清和		村井えみ子		白鳥さち子
専務理事	千田 稔	監事	熊谷 真人		鈴木 弘二
事務局長	加藤 幸子		松谷 一夫		鈴木 幸子
理事	阿部さかえ		佐藤 鉄二		千葉 雅保
	伊藤 律子		赤塚 吉雄		中嶋眞佐子
	岩山 浩一	安藤 伸子	中谷 祐太		
	奥村 静剛	五十嵐梨絵子	早川麻由利		
	神坂 旭	市瀬 智紀	林 健一		
	川村 洋子	菊地伊津子	八木 直志		
	佐浦 公美	菊池 健一			
	須佐 尚康	小泉知加子			
	鈴木かつら	國分 公正			
	高橋 教義	齋藤 哲子			

2019年5月30日選任
理事・監事は五十音順

委員長より



松坂 宏造 企画・広報委員会

5月1日から元号が令和に変わり新しい時代を迎え新鮮な気持ちで本年度も様々な事業に取り組んでまいりたいと思います。本年度は、事業の見直しをし委員会の皆様に参加しやすい体制を整えてまいります。

その中の重要課題として、仙台ユネスコ協会の将来構想（ビジョン）を提案し事務所の新たな活動拠点を確保し「民間ユネスコ運動の発祥の地」に相応しい活動を続けられるように取り組むことです。

また、世界寺子屋運動（教育・識字率向上の支援）の展開や多くの方々にユネスコ活動の広報を行い市民の方々に理解を深めることであります。

そして、役員・会員などの交流・意見交換をする企画を積極的に行い、今まで以上に人間関係の充実を図って行きたいと思っております。

また、仙台ユネスコ協会の現状の会員数を増やし将来にわたり安定した活動が出来るように取り組んでまいります。その為には会員の皆様のご協力が必要です。今後共、引き続きよろしくお願ひいたします。



内藤 恵子 ESD/SDGs委員会

昨年度3つの委員会を横断する形で試行したESDプロジェクトを、今年度から正式に、ESD/SDGs委員会として立ち上げました。様々な問題に直面しているこの地球を未来につないでいくために、2015年9月に、国連加盟国193か国合意のもと、2030年をゴールとする17の目標（SDGs）が採択されました。強い危機感をもって、世界中で政府、企業、学者、一般の人たちや若者、子どもたちも、一人

人が「自分のこと」として進めていかなければならないと言われております。当協会は「地域ESD活動推進拠点」登録をしており、教育（Education）を通じた啓発活動が期待されています。

ESD/SDGs委員会では、昨年開催したESD講座「気候変動編」に続く講座の開催や、ESD活動支援センターやESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアムとの協働による活動を考えています。特に企業との連携を進める考えですが、発足したばかりの委員会ですので、模索しながら、会員の皆様のお力をいただきながら進めて参りたいと思っております。



西條 清和 ユネスコ活動委員会

このたび本協合理事のご推薦により、ユネスコ活動委員会の委員長を務めさせていただくことになりました。活動委員会の任務には慣れておらず皆さまにご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、これまでの「第三委員会（活動委員会）」の活動を引き継いで、微力ながら仙台ユネスコ協会の高い理念を具現化すべく、様々な学びつつ活動を

行い少しでもお役にたちたいと思っております。主な活動としては、仙台ユネスコ協会2019年度事業計画に沿って、ユネスコカレッジ（世界遺産・地域未来遺産の保全・保護の啓発など）の開催、ユネスコこども絵画展「絵で伝えよう！私のまちのたからもの絵画展」の開催、国際交流事業（在仙外国人との交流会など）の開催、そして地球フェスタへの参加などに関するものであり、皆さまとともに楽しく活動させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

協会組織と構成メンバー

委員会名	①企画・広報委員会	②ESD/SDGs委員会 青年部担当	③ユネスコ活動委員会	執行部会	事務局
担当事業	<ul style="list-style-type: none"> ●仙台ユネスコ協会の将来構想（ビジョン）の提案に関する事 ●民間ユネスコ運動の催事に関する事 ●世界寺子屋運動の展開 ●ユネスコ活動の広報に関する事（会報・HP、メディアを通じて市民に） ●ユネスコ活動の普及のための各種出版物の刊行及び頒布に関する事 ●新規会員の入会促進に関する企画に関する事 ●役員・会員などの交流・意見交換会 	<ul style="list-style-type: none"> ●ESD（持続可能な社会づくりの担い手を育む教育）活動の普及・推進に関する事。……ユネスコスクールに関する事 ●17のSDGs（持続可能な開発目標）に関する関連事業を企画運営すること。……官公庁・経済界・教育界との連携 ●ESD活動拠点として、関連団体と連携すること。 ●青年部の担当・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●国際交流事業の開催 ●他団体との共催事業（バザー・展示など） ●ユネスコカレッジの開催 ●世界遺産・地域未来遺産の保全・保護の啓蒙 ●絵で伝えよう！わたしの町のたからもの絵画展の開催 ●地球フェスタへの参加 	<ul style="list-style-type: none"> ●仙台ユネスコ協会の将来構想（ビジョン）の策定に関する事 ●東北ブロック・ユネスコ連絡協議会、宮城県ユネスコ連絡協議会等との連携 ●民間ユネスコ運動全国大会、東北ブロック・ユネスコ研究会の参加促進 ●国際理解弁論大会への協力（*審査員の派遣） ●活動拠点の確保 ●各委員会が競合する場合の調整 	<ul style="list-style-type: none"> ●ユネスコ関係文書・PCの記録保存 ●年間行事に関する日程場所の調整 ●事務関係の管理（事務機・事務用品など） ●会計・会員異動管理 ●講座に関する業務 ●関係諸官庁への届出、認可申請、報告等 ●その他、他に属せざるもの
役員名（構成メンバー）	◎松坂 宏造 小泉知加子 赤塚 吉雄 伊藤 律子 岩山 浩一 菊池 健一 佐藤 皇季 千葉 雅保	◎内藤 恵子 阿部さかえ 市瀬 智紀 神坂 旭 佐浦 公美 須佐 尚康 鈴木 幸子 高橋 教義 早川麻由利 林 健一 針生真由美 村井えみ子 中谷 祐太 八木 直志 （青年部）	◎西條 清和 安藤 伸子 五十嵐梨絵子 奥村 静剛 川村 洋子 菊地伊津子 齋藤 哲子 佐藤 信 佐藤 芳郎 白鳥さち子 鈴木かつら 鈴木 弘二 富田 義雄 中嶋眞佐子 原 一代	◎見上 一幸 千田 稔 松坂 宏造 内藤 恵子 西條 清和 加藤 幸子	◎千田 稔 加藤 幸子 國分 公正 須藤 和枝



青年部だより

ユネスコ青年全国大会参加



1月12～14日の3日間、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた「ユネスコ青年全国大会in東京」に中谷祐太、伊藤蒼の2名が参加しました。

全国からUNESCOという共通認識を持った高校生から社会人までの40人の青年が集まり、交流を深めました。今年のテーマは『「終わり」は新たな「始まり」』でした。自己の「再認識」「再発見」、新たな自己を「再生」することで、「本当の自分」に出逢うことを目的としネバーエンディングノートを作成しました。

ユネスコ団体に所属していることへの責任と誇りを再認識することができ、新たな立志へと繋がる経験となりました。

（青年部代表 竹中和奏 記）

全国サミット参加（奈良）



2月9～10日の2日間、奈良県で行われた全国サミットに竹中和奏、伊藤蒼が参加しました。

主催して下さった奈良教育大学を始め、玉川大学、福山市立大学、広島大学、京都外国語大学、そして私たち仙台白百合女子大学と宮城教育大学の7つの大学の学生が集まり、約30名のキャンプとなりました。活動紹介をはじめ、SDGsの「11. 住み続けられるまちづくりを」にフォーカスした「持続可能な街づくり」をテーマにワークショップを行いました。

2日目には東大寺を見学、普段は入れない裏側も見せていただくなど、こちらも滅多に出来ない幸運な見学でした。同年代が集い語り合える機会は貴重で、お互いに刺激し合えた有意義な時間となりました。

（青年部代表 竹中和奏 記）

新入生勧誘活動



例年、お花見、ミーティング見学、各大学でのチラシ配りなど、様々な方法で勧誘活動を行っていますが、今年度、青年部の活動をまとめたリーフレット「仙台ユネスコ協会 青年部」を作成、各大学の入学式で配りました。

写真は東北大学と東北学院大学での配布の様子ですが、昨年のキャンプスタッフとの再会もあり、出会いが広がっていることが嬉しいです。

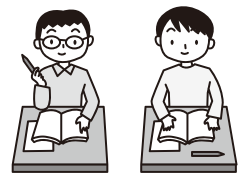
（青年部代表 竹中和奏 記）



仙台ユネスコ協会青年部としての活動

月に2回ほどミーティングを行い新歓計画やキャンプ計画、今年から新たに始まるLanguage Exchange、ユネカレ、スタディーツアーについて深めてきました。

（青年部代表 竹中和奏 記）



“11枚の書きそんじハガキでひとりがひと月学校に” ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。



書きそんじた郵便ハガキをご寄付ください。送れなかった62円ハガキは1枚につき57円の募金に替えることができ、11枚あつまれば、カンボジアではひとりがひと月学校に通えます。ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。

会員募集 あなたも参加しませんか!

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、1947年7月19日に誕生しました。あなたのご参加をお待ちしています!

団体会員(一口) 年会費	20,000円
個人会員(一口) 年会費	5,000円
青年部会員(一口) 年会費	2,000円

仙台ユネスコ協会 会員数

団体会員	97
個人会員	170
青年部会員	23
合計	290

(2019年4月初現在)

【編集委員】

松坂 宏造 小泉知加子
 赤塚 吉雄 伊藤 律子
 岩山 浩一 菊池 健一
 佐藤 皇季 千葉 雅保

【編集後記】

仙台ユネスコ会報460号をお届けします。5月30日の総会で新役員が選任されました。①企画・広報委員会 ②ESD/SDGs委員会 ③ユネスコ活動委員会のほか、執行部会と事務局の役割を明確にし、さらに、それぞれの役員の活動がしやすくなります。

青年部の活動が活発で、会員も増えてきています。世代が受け継がれていくことで、ますます会も充実した楽しい会になっていくよう努めて参りましょう。

今後とも、創意工夫して編集していきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(仙台ユネスコ会報編集長 小泉 知加子)